

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		(事業費の単位は百万円)							
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	上町ふれあいの森整備事業	35	階段、スロープ、園路、ベンチ、遊具、駐車場等	36	階段、スロープ、園路、ベンチ、遊具、駐車場等	駐車場用地拡張のための事業費増	影響なし	●	
地域生活基盤施設	緑地整備事業	5	A=150㎡	5	A=150㎡	—	影響なし	●	
地域生活基盤施設	駐車場整備事業	38	立体二層、A=2,000㎡、公共駐車場(約100台)	33	平面、A=2,700㎡、公共駐車場(約80台)	工法の変更に伴う事業費減	影響なし		●
高質空間形成施設	市道4号線歩道高質化事業	9	平板ブロック化 L=60m	15	カラー舗装化 L=60m	仕様変更に伴う事業費増	影響なし	●	
高質空間形成施設	市道51号線歩道バリアフリー化事業	64	平板ブロック化 L=730m	102	カラー舗装化 L=730m	仕様変更に伴う事業費増	影響なし	●	
高質空間形成施設	市道53号線歩道バリアフリー化事業	—	—	40	カラー舗装化 L=310m	事業を追加	影響なし	●	
高質空間形成施設	歩行者・自転車道路整備事業	25	平板ブロック化 L=280m	15	カラー舗装化 L=280m	工法の変更に伴う事業費減	影響なし	●	
高質空間形成施設	歩行者道整備事業	320	L=420m	—	—	事業を削除	影響なし	—	—
高質空間形成施設	街路灯整備事業	9	L=270m	9	L=270m	—	影響なし	●	
高質空間形成施設	蓮田駅東口トイレ整備事業	—	—	36	L=5.3m W=8.1m	事業を追加	影響なし	●	
高質空間形成施設	堂山公園トイレ整備事業	—	—	60	L=8.0m W=4.0m	事業を追加	影響なし	—	—
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査	事業効果調査	3	都市再生整備計画 事業の事業効果を 調査検討し、事後評 価シート等を作成	3	都市再生整備計画 事業の事業効果を 調査検討し、事後評 価シート等を作成	—	影響なし	●	—
まちづくり 活動推進事業	産・学・官連携によるのくぼ通り周辺 商店街活性化事業	7	・人間総合科学大学の学園祭と蓮田市のマスコットキャラクター「はすびい」とのジョイントコンサート ・PRチラシやオリジナルグッズ、のくぼ通り店舗情報マップの配布 ・蓮田市が舞台となった実話映画の上映会	7	・人間総合科学大学の学園祭と蓮田市のマスコットキャラクター「はすびい」とのジョイントコンサート ・PRチラシやオリジナルグッズ、のくぼ通り店舗情報マップの配布 ・蓮田市が舞台となった実話映画の上映会	—	影響なし	●	—
まちづくり 活動推進事業	商店街アプリ事業	2	のくぼ通り周辺の商店アプリを制作する	—	—	事業を削除	影響なし	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
蓮田駅西口第一種市街地再開発事業		蓮田駅西口	18,421	18,421	平成12年度～令和3年度	平成12年度～令和3年度	事業完了	—
蓮田駅西口通線整備事業			794	794	平成26年度～令和5年度	平成26年度～令和8年度	事業実施中	令和2年度事業認可
前口山ノ内線整備事業			1,343	1,343	平成27年度～令和5年度	平成27年度～調整中	事業未着手	—

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし
指標1	駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度	%	蓮田駅利用者にアンケート調査を実施し、「駅周辺のみどりの交流拠点(緑地、公園等)や歩行者用道路ネットワークの整備に対する満足度」の指標に、十分・普通と回答した人数・割合を計測し、評価値を求める。		43.4	H30	55.4	R5	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	57.5	事後評価		
指標2	商店街通行量	人	のくぼ通り周辺商店街において歩行者通行量調査を実施し、歩行者数の計測値を評価値とする。		1,379	H30	1,441	R5	モニタリング		モニタリング			●
									事後評価	確定見込み ●	1,231	事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	令和5年度に実施した駅利用者アンケート調査の結果、駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度が57.5%となり、目標値を上回ったため。	駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対して不十分と感じている人が一定数いるため、今後も中心市街地の利便性向上と回遊性向上に取組む必要がある。
指標2	令和5年度に実施したのくぼ通り周辺商店街における歩行者通行量調査の結果、商店街通行量の合計値が1,231人となり、目標値を下回ったため。	コロナ禍の影響による商店の撤退・廃業やリモートワーク・オンライン授業の拡充に伴う通勤通学形態の変化等は、中心市街地の回遊性やにぎわいにも影響を与えたため、商店街通行量がコロナ禍以前まで回復しなかったと考えられる。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標		データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	人間総合科学大学文化祭の入場者数	人	令和5年10月28日(土)に開催した文化祭において「入場ゲートを通った人数」を計測し、当日の実測値を評価値とする。(市計測)			349	H30	モニタリング		976	指標2を補完し、文化祭の入場者数を計測することで、産・学・官連携によるのくぼ通り周辺商店街の活性化を進める上で不可欠である大学との連携、その賑わい状況を把握する。
								事後評価	確定 ● 見込み		
その他の数値指標2								モニタリング			
								事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・市道4号線歩道高質化事業や市道51号線・53号線歩道/バリアフリー化事業、歩行者・自転車道路整備事業等の整備により、歩道幅員が拡幅され、歩行者や自転車が安全で円滑に交通できる道路環境の改善が図られた。
- ・蓮田駅東口トイレ整備事業や街路灯整備事業等により、駅周辺の道路の美装化が行われるとともに、高齢者・障がい者・子育て世代をはじめとする誰もが安全に安心して、歩いて外出できる環境の向上が図られた。
- ・上町ふれあいの森整備事業や緑地整備事業等により、中心市街地に緑地が整備され、市民が憩える場が創出された。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
再開発区域に隣接した住民の方々と構成された蓮田駅西口地区まちづくり協議会において、駅周辺に適したまちづくりのルールや手法について検討している。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	①実施頻度【役員会1回・総会1回／年、計10回】 ②実施時期【令和元年～令和5年】 ③実施結果：まちづくりの先進地や、本計画の区域内の視察を通して、課題・問題点の確認や、駅周辺のまちづくりの手法を検討している。	蓮田駅西口地区まちづくり協議会の活動を継続し、住民参画のまちづくりを推進する。
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
蓮田駅西口地区まちづくり協議会と連携して、中心市街地の活性化に取り組んでいる。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	①実施頻度【役員会1回・総会1回／年、計10回】 ②実施時期【令和元年～令和5年】 ③実施結果：まちづくりの先進地や、本計画の区域内の視察を通して、課題・問題点の確認や、駅周辺のまちづくりの手法を検討している。	蓮田駅西口地区まちづくり協議会	蓮田駅西口地区まちづくり協議会の会員と、まちづくりについて定期的に意見交換し、今後の事業に活用する。
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—	—

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断的事後評価会議	道路課 みどり環境課 自治振興課 政策調整課 社会教育課 都市計画課	令和5年11月28日(火)	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		その他の数値指標1					
指標名		駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度		人間総合科学大学文化祭の入場者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	上町ふれあいの森整備事業	◎	蓮田駅西口第一種市街地再開発事業の完了は、駅周辺に人が集まり賑わいを創るきっかけとなり、駅周辺の交流拠点としての機能・魅力が向上した。また、歩行系道路の整備・バリアフリー化事業や公園・緑地の整備事業、蓮田駅東口トイレ整備事業、街路灯整備事業等によって、まちなかを安全で円滑に交通できる道路環境の改善が図られた。よって、駅周辺の各種施設に対する満足度が向上し、目標値を達成した。	-	コロナ禍の影響により、大学との連携によるくぼ通り周辺商店街の活性化への事業展開は休止となったが、4年ぶりに開催された文化祭の入場者数はコロナ禍以前を上回り、大学及び学生の活力の回復の兆しがみられた。	-		-	
	緑地整備事業	◎							
	駐車場整備事業	△							
	市道4号線歩道高質化事業	◎							
	市道51号線歩道バリアフリー化事業	◎							
	市道53号線歩道バリアフリー化事業	◎							
	歩行者・自転車道路整備事業	◎							
	街路灯整備事業	◎							
蓮田駅東口トイレ整備事業	◎								
堂山公園トイレ整備事業	△								
提案事業	事業効果調査	-							
	産・学・官連携によるくぼ通り周辺商店街活性化事業	-							
関連事業	蓮田駅西口第一種市街地再開発事業	◎							
	蓮田駅西口通線整備事業	△							
	前口山ノ内線整備事業	-							

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	整備した公園・緑地、歩道等は、地元との協働による適切な維持管理を行い、施設を良好に保つことで整備効果を維持していく。また、更なる歩道整備を促進し、街全体での歩行者ネットワークを構築するとともに、沿道への景観・情報発信等資源を配置することにより、魅力向上に努める。	今後は、この活力が商店街にも拡張し、商店街の活性化へ波及していくことが期待される。また、産・学・官連携によるくぼ通り周辺商店街活性化事業等のソフト事業を計画し、効果的なイベントの実施や継続的なイベント開催等を行い、地域活性化と賑わいの創出を図る必要がある。
-------	---	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標2											
指標名		商店街通行量											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	上町ふれあいの森整備事業	-	歩道の高質化事業やバリアフリー化事業等に より、ハード面の道路環境整備は整いつつあるが、商店街通行量は改善されず、目標を達成できなかった。要因として、コロナ禍に伴う通勤通学形態の変化等による交通量の減少、のくぼ通り周辺商店街の店舗の減少、駐車場整備事業の遅延などが要因と考えられる。	Ⅲ									
	緑地整備事業	-											
	駐車場整備事業	×											
	市道4号線歩道高質化事業	△											
	市道51号線歩道バリアフリー化事業	△											
	市道53号線歩道バリアフリー化事業	△											
	歩行者・自転車道路整備事業	-											
	街路灯整備事業	-											
蓮田駅東口トイレ整備事業	-												
堂山公園トイレ整備事業	-												
事業効果調査	-												
産・学・官連携によるのくぼ通り周辺商店街活性化事業	△												
関連事業	蓮田駅西口第一種市街地再開発事業	-											
	蓮田駅西口通線整備事業	-											
	前口山ノ内線整備事業	-											

※目標未達成への影響度

- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	産・学・官連携により、大学や事業所、地域(商店街・商業主及び住民)と連携し、イベント開催や将来の新規開業を目指す人々が試験的な開業ができる場の創出などの活性化施策の展開を促進し、商店街の賑わいの再生や交流人口の拡大を目指す。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断的事後評価会議	道路課 みどり環境課 自治振興課 政策調整課 社会教育課 都市計画課	令和5年11月28日(火)	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
人口減少や少子高齢化による街なかの閉塞感を、商店街の活性化や道路美装化等により賑わいあふれる商業のまちを創出する必要がある。	歩道の高質化事業やバリアフリー化事業、街路灯整備等が実施され、カラー舗装による道路の美装化やバリアフリー化が達成された。	道路の美装化やバリアフリー化には既に取り組んできたが、商店街の活性化や賑わいあふれる商業のまちの創出には至っていない。	整備を実施した道路等のインフラ施設について、環境美化活動等で地元と協働しながら、適切に維持管理を行い、整備効果を維持していく必要がある。 また、人々の目的となるまちなかでの居場所づくりや地域活性化と賑わいの創出のための取組みを引き続き、継続していく必要がある。
街なか拠点エリアのみどりの空間や公園、公共施設等を繋ぎ合わせる、街なか拠点間の回遊性が十分でない。	みどりの空間、公園の整備が行われるとともに、歩行者・自転車道等の基盤施設整備により歩行者ネットワークが形成された。	公園や各種施設間を繋ぐ歩行者ネットワークのバリアフリー化をさらに進めるとともに、歩行空間及び沿道への景観材や情報発信機能の拡充等の環境整備を充実し、まちなかの回遊性を高めていく必要がある。	
大学の通学路にもなっている商店街のさらなる活性化を図るため、地域産業を担う地元大学と連携してイベントを行うことにより、地域活性化と賑わいの創出を図る。	大学の通学路にもなっている市道4号線歩道や市道51号線・53号線歩道バリアフリー化事業が実施されたが、地域産業を担う地元大学と連携したイベントが実施できなかった。	コロナ禍の影響等によりのかぼ通り周辺商店街におけるイベント等が中止されるなど、商店街及び地域の活性化と賑わいの創出には至っていない。今後、産・学・官連携によるのかぼ通り周辺商店街活性化事業等のソフト事業を計画し、効果的なイベントの実施や継続的なイベント開催等を行い、地域活性化と賑わいの創出を図る必要がある。	
中心市街地の交通渋滞の緩和、「歩いて暮らせるまちづくり」を推進するため、鉄道駅に近接して利用者用駐車場を設置し、パークアンドライドを進める必要がある。	—	駐車場整備が完了していないことから、現況において改善は見られていない。引き続き、まちなかにおけるパークアンドライド機能を高めていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	歩行系道路の適切な維持管理	環境美化活動等で地元と協働しながら、適切に維持管理を行い、施設の状態を良好に保つことで、継続的に整備効果を維持していく	・高質空間形成施設

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	バリアフリー化した道路ネットワーク形成とトイレ整備の拡充	道路の美装化、バリアフリー化を今後も進めていき、駅前及び駅周辺の安全で安心な歩行空間ネットワークのさらなる充実を展開していく。これにより、高齢者等のまちを回遊する機会を高めることにより、その相乗効果として商店街への人の流れを誘発していくものとする。	・高質空間形成施設
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	まちなかの回遊性の魅力、快適性の向上	・地域生活基盤施設
	地域活性化と賑わいの創出	歩行系道路には、まちの情報・案内を提供するなどの付加価値の高い設備を設置し、まちなかの回遊性の魅力、快適性の向上を図る。 産・学・官連携によるのくぼ通り周辺商店街活性化事業等のソフト事業を展開していく。	・まちづくり活動推進事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・駅利用者アンケートの結果において駅前商業施設の誘致や商店街・駅前の活性化を要望する声が多くみられたことから、商店街活性化事業や産・学・官連携によるイベント等を行うことにより、地域活性化と賑わい創出を図る。
・庁内の事業担当課と連絡体制を密にして、計画変更等を行い、事後評価に反映できる事業執行体制を構築することが重要である。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度	%	43.4	H30	55.4	R5	確定 ●	57.5	○	あり	—	—	—	—
							見込み			なし				
指標2	商店街通行量	人	1,379	H30	1,441	R5	確定 ●	1,231	×	あり	—	—	—	—
							見込み			なし ●				
その他の数値指標1	人間総合科学大学文化祭の入場者数	人	349	H30	/		確定 ●	976	/		—	—	—	—
その他の数値指標2	—	—	—	—	/		確定	—	/		—	—	—	—
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	歩道のバリアフリー化や地域生活基盤施設、高質空間形成施設の整備が進められたことにより、指標1「駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度」の数値目標が達成された。	蓮田市中心市街地地区において、今後も駅周辺のバリアフリー化や地域生活基盤施設、高質空間形成施設の整備を継続して行き、まちの回遊性の向上を進めていく。
	うまくいかなかった点	新型コロナ禍の影響による店舗の撤退や通勤通学流動の変化、各種イベント等の中止などに伴い、産・学・官連携によるのくぼ通り周辺商店街活性化事業が順調に進まず、指標2「商店街通行量」の数値が目標値を下回る結果となり、目標未達成となった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	市道のバリアフリー化や地域生活基盤施設、高質空間形成施設の整備効果を図る指標として、駅利用者へのアンケート調査による駅周辺の交流拠点・歩行系道路に対する満足度は整合した指標である。	蓮田市中心市街地地区において、今後も駅周辺のバリアフリー化や地域生活基盤施設、高質空間形成施設の整備を継続して行き、まちの回遊性の向上を進めていく。
	うまくいかなかった点	のくぼ通り周辺商店街の歩行者通行量が減少し、数値目標を達成することはできなかった。しかし、駐車場整備が今年度末に完成し商店街へのアクセスが向上すること、また、人間総合科学大学の文化祭入場者数がコロナ前を上回るなど、地域の活力が戻りつつある兆しがみられる。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	駅利用者アンケートを蓮田駅の東西口で実施し、紙での回答に加えてWeb回答を実施したことにより、前回の回収率を上回った。	蓮田駅西口地区まちづくり協議会との連携を維持するとともに、住民参加や情報発信の機会を拡大していく。そのため、従来のアンケートや広報等の活動のほか、情報案内板（デジタルサイネージ）等を活用した効果的な情報発信を行っていく。
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	数値目標を設定することにより事業評価が明確になった。	アンケートなどの住民の意見、意向を把握する機会を設け、継続して事業に対する評価を確認していく。
	うまくいかなかった点	基幹事業の一部の整備が事業期間内に終わることが出来ず、事業に対する評価を確認できなかった。	
その他	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定

当地区において、実施できなかった事業の実施や、中心市街地の魅力や利便性の向上をさらに進めるため、次期計画として、「蓮田市中心市街地地区第5期都市再生整備計画事業(R6～10)」を策定中である。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	蓮田市のホームページ上に掲載	令和5年12月25日～ 令和6年1月24日	同左	担当課への 持参、郵送、FAX、電子 メール	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 都市計画課窓口で原案を公 表している旨を掲載	令和5年12月15日掲載	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当課窓口・行政資料コー ナー、図書館、中央公民館、 農業者トレーニングセンター、 総合文化会館(ハストピア)で 公開	令和5年12月25日～ 令和6年1月24日	同左		
住民の意見	(今後掲載予定)				

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	元埼玉県下水道局荒川左岸北部下水道事務所長 金塚 史朗 人間総合科学大学教授 梅國 智子 宇都宮大学准教授 長田 哲平 元蓮田市都市整備部長 田島 幸則	・第1回 令和5年8月28日 ・第2回 令和5年12月22日 ・第3回 令和6年1月31日	都市計画課	蓮田市社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)事後評価実施要項	都市計画審議会
その他の委員	市議会議員、商工会、宅地建物取引業、市民団体				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	(今後掲載予定)
	成果の評価	(今後掲載予定)
	実施過程の評価	(今後掲載予定)
	効果発現要因の整理	(今後掲載予定)
	事後評価原案の公表の妥当性	(今後掲載予定)
	その他	(今後掲載予定)
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	(今後掲載予定)
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	(今後掲載予定)
	フォローアップ	(今後掲載予定)
	その他	(今後掲載予定)
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	(今後掲載予定)
その他	(今後掲載予定)	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
梅國智子 人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授 【蓮田市都市計画審議会委員】	令和5年11～12月	政策調整課 都市計画課

有識者の意見	(今後掲載予定)
--------	----------